

豊かな教育を子どもたちに

I 研究内容

1 研究の具体的内容与方法

(1) 甲州支会と山梨支会に別れ、教育環境の整備と事務の効率化をめざして それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会 …… 予算分析、職員会議提案資料、予算の有効活用、予算差引簿の活用についての研究。

イ 山梨支会 …… 予算分析、予算要求、備品管理のパソコン処理についての研究。

(2) 東山梨教育環境白書の作成に協力するため「教育財政の実態」「教育環境の実態」についての調査。

II 成果と課題

1 成果

(1) 甲州支会

アンケート調査や比較資料から甲州市や各校が抱えている課題を明らかにし、解決に取り組んだ。継続研究を行っているので昨年度の状況や他校との比較をし、予算要求に役立てることができた。洗い出した課題は校長会をとおして市教委に要望書として提出した。また、予算要求に向けての職員会議提案資料の見直しをすることで、予算要求に対する考え方や留意点等の共通理解を図ることができた。コピーの使用料調査では、業者との契約単価の違いや各校の配分のアンバランスなど気づいた点を予算要求に活かすこととした。さらに予算の有効活用・節約・エコについて他校の実践を聞き、取り組みに活かすことができた。

予算差引簿(改訂版)活用のための講習会を行うことで、新任者や独自の差引簿から切り替える学校も増え、有効活用されそうである。

(2) 山梨支会

予算分析表は集計シートへの学校名欄の追加とグラフの上限値の設定を行い、配当予算の状況が判りやすくなった。学校ごとの意見交換や予算要求時の重点の洗い出し、さらには職員会議で配当予算説明資料として活用していけそうである。今までは、学校の実情を予算要求しても配当予算は異なっていたが、配当予算総額の5%減を守れば、目(学校管理費・教育振興費・学校給食費)・節(報償費・需用費・役務費・使用料賃借料・備品購入費)・細節(消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕費・通信費等)は校長(学校)の裁量になった。

備品取扱要綱、備品ラベルの書式、理科備品を含めた備品分類表、備品台帳のエクセルファイル化を行い、備品管理の環境が整った。

2 課題

(1) 甲州支会

予算要求に向けての職員会議提案資料に各校独自に学校長の基本方針を載せた学校もあったが、全校での取り組みにはいたらなかった。

予算差引簿については、各自の「何に使いたいのか」求めるものの違いもあり、なかなか全員が使用するまでにはなっていない。しかし、市独自の歳出予定額調に対応しているなど、これを使う利点も多くあるのでさらに改良を加え事務の効率化につなげていきたい。

(2) 山梨支会

学校配当予算は毎年減額され、市全体でも厳しくなっているが、耐震改修は体育館を残すのみとなった。しかし、耐震とあわせて大規模改修された学校と耐震改修のみの学校に格差がでてしまっている。解消のためには来年度以降も改修していかなければならない状況で、学校への配当予算が減額されることも予想される。また校長の裁量になった分、今までのような組み替えや流用ができなくなることが懸念され、予算要求時の金額の積み上げを更に精査していかなければならないことが課題となる。予算要求のヒヤリングも復活したが、時間が短く15分では市教委担当者の仕分けを聞くだけになってしまった。財政が厳しいこのときこそヒヤリング時間を拡大し内容を十分話し合う必要がある。

備品台帳は、入力や活用についての情報交換を大切にし、スムーズに移行を行いたい。

(3) 全体として

各支会の情報交換や研修については、より有効に活用できるよう工夫をしていきたい。

III 成果物

1 甲州支会

予算分析表、職員会議提案資料、予算差引簿（エクセルファイル）

予算の有効活用のための参考資料（消耗品単価調査・コピー使用料調査）

2 山梨支会

予算分析表、備品取扱要綱、備品ラベルの書式、理科備品を含めた備品分類表、備品台帳（エクセルファイル）

（ 部長 網野妙子 ）